

4

骨粗しょう症検診

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	2	2 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	7	6 (85.7)	1 (14.3)
	25～29歳	5	5 (100.0)	0 (0.0)
	30～34歳	8	2 (25.0)	6 (75.0)
	35～39歳	7	4 (57.1)	2 (28.6)
	40～44歳	6	2 (33.3)	3 (50.0)
	45～49歳	11	6 (54.5)	3 (27.3)
	50～54歳	9	4 (44.4)	3 (33.3)
	55～59歳	14	4 (28.6)	6 (42.9)
	60歳以上	29	10 (34.5)	12 (41.4)
計	98	45 (45.9)	36 (36.7)	17 (17.3)
女	19歳以下	0	-	-
	20～24歳	6	5 (83.3)	1 (16.7)
	25～29歳	14	14 (100.0)	0 (0.0)
	30～34歳	7	5 (71.4)	1 (14.3)
	35～39歳	10	9 (90.0)	1 (10.0)
	40～44歳	21	17 (81.0)	3 (14.3)
	45～49歳	36	32 (88.9)	4 (11.1)
	50～54歳	47	34 (72.3)	10 (21.3)
	55～59歳	78	36 (46.2)	31 (39.7)
	60歳以上	194	59 (30.4)	101 (52.1)
計	413	211 (51.1)	152 (36.8)	50 (12.1)
総 数	511	256 (50.1)	188 (36.8)	67 (13.1)